



The service club to the YMCA
 THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERYRIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF YS MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2017年1月会報 第340号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) JOAN WILSON (カナダ)

主 題: " Our Future Begins Today "

「私達の未来は、今日から始まる」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao

主 題: " Respect Y's Movement "

「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)

主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」

“ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”

副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」

Doubling membership through having substantial

Meetings and active service!

六甲部部长 長井 慎吾(西宮)

主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で

更なるクラブ活性化を図ろう」

宝塚クラブ会長 若林 成幸

主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ: IBC(国際兄弟クラブ) DBC(国内兄弟クラブ)
安息日を心に留め、これを聖別せよ。六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。(出エジプト記20章8-10節)

2017年1月例会

日 時 : 2017年1月11日(水)18:30
 場 所 : 宝塚ホテル オーシェルの間
 会 費 : 会員3,600円、会員外4,000円
 (材料代を含む)

ドライバー 加藤光信 福田 肇
 開会点鐘 若林 成幸会長
 ワイズソング 全 員
 ゲスト・ビジター紹介 会 長
 聖書朗読 青柳美知子
 祈 禱 吉田 明
 晩 餐 一 同
 お話し

スピーカー 佐藤 晴奈さん
 「臨床美術で書き初め」

インフォメーション
 YMCAニュース
 誕生日記念日

閉会点鐘 若林成幸会長

2016/17 役 員	会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	Y M C Aサービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子・EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子・ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸
お誕生日 おめでとう!	水谷 恭子(1日) 堀江裕一(12日) 武田 建(19日) 武田寿子(25日)
1 2 月 実 績	例会出席者数 30名 在籍会員数 19名(名誉会員1) 出席会員数 14名 出席率 77.77% メイクアップ(内数) 2名(鯖尻、谷川) メネット 3名 コメット・孫メット0名、ゲスト・ビジター14名 B Fポイント 12月 0円 累 計 16,191円 にこにこBOX 12月 1,000円 累 計 20,500円 ファンド(物品販売) 17,500円 累 計 36,250円 礼拝献金 23,500円

12月第1例会報告

宝塚クラブクリスマス例会は2016年12月14日(水)、いつもより30分早い18:00から宝塚ホテルで持たれました。早く始まるのはクリスマス特別バージョンとして、第1部クリスマス礼拝、第2部ミニコンサートが例会前に入るためです。

第1部、クリスマス礼拝は、日本基督教団東梅田教会・武久盾伝道師の「子になる」と題して奨励を頂きました。毎年、クリスマス礼拝ではYMCA 同盟「地球市民育成プロジェクト」へ献金をしています



第2部、ミニコンサートは、チャリティ市民クリスマス・キャロルの夕べに毎回出演されているアンサンブル・ダ・カーポから浅野知英子さん、薄時子さん、道幸奈津子さん、3名の演奏です。リコーダー、ヴァイオリン、チェロの美しい音色で心が慰められました。



リコーダー、ヴァイオリン、チェロの美しい音色で心が慰められました。



(若手桑田ワイズの司会)

ドライバー・石田由美子

12月第2例会報告

1. 日時:12月21日(水)18時30分—20時 場所:甲東教会
2. 出席者 若林、石田、多胡、福田宏、長尾、吉田、堀江、今田メネット、鯖尻、武田
 - ① 市民クリスマス 準備状況・役割分担の確認(別紙:役割分担表)
辻先生より1万円の寄付、第二例会前にお菓子の袋詰め完了
 - ② 1月例会の確認
講師:佐藤晴奈氏「臨床美術で描き初め」:
宝塚ホテル 西9階 オーシェルの間
会費:3600円(材料費込)ゲスト4000円
 - ③ 2月以降のゲストスピーカーの確認
2月8日 山口 幸氏 明日の福祉に希望の光を、【TOF 例会】スクリーンプロジェクター用意、確認済み
3月8日 草野 修氏 スキューバダイビングから見た海の環境(仮)
4月12日 若林寛之(会長の弟)北朝鮮問題をどう考えるか(仮)
5月10日 岡崎桂二氏(チャーターメンバー、四天王寺国際仏教大学教授)を多胡が交渉
 - ④ 国際選挙(提出期限 1月31日午後5時、ジュネーブ着)
次期 2017/18 国際会長(候補者3名のうち韓国のムン・サン・ボン)
国際理事は東日本区の田中博之氏に投票国際憲法改正は賛成に投じる
 - ⑤ 次期会長武田が承認された。次期部EMC主査 若林
また宝塚周年行事はできれば六甲部会に合流してはどうか、担当吉田、堀江
 - ⑥ 西日本区神戸大会準備会報告
石田実行委員長より進捗状況の報告、10

月からすでに準備委員会が3回各委員が決定、六甲クラブすべてに協力を仰ぐが、宝塚はほとんどの委員会で責任を
第1回実行委員会1月16日(月)6時30分
神戸 YMCA

- ⑦ 各委員会報告 福田宏よりデンマークギブよりクリスマスプレゼントが到着、返礼に一筆箋とクリアファイルの案が承認され、準備
- ⑧ 東西交流会は参加者なし
- ⑨ ブリテン編集スケジュール、原稿締め切り12/28、1/4発信

原稿依頼:12月例会、石田、桑田
 第二例会:武田 会長新年挨拶:若林
 Xmas キャロル:若林、石田、多胡、杉谷、
 福田宏、杉谷、福田素

他クラブ訪問:神戸クラブ 鯖尻、土佐堀、
 石田、鯖尻 芦屋 武田、
 鯖尻、堀江、

メネット報告:福田素子

その他 例会出席者数13名、メネット3名、
 メイクアップ2名 ゲスト 14名

礼拝献金 23500円、ニコニコ1000円、
 物品販売 17500円(累計36250円)

1月ドライバー加藤、福田肇、聖書朗読 青柳
 祈祷 吉田

書記 武田寿子

会長からご挨拶

皆様、あけましておめでとうございます。



昨年7月に会長職を預かり早くも任期の半分が経過しました。六甲部会・ジャガイモ販売・きらりと輝くアート展・市民クリスマスなど

の行事を終え、また、例会にも若干の工夫を交え何とか無難に進められたことを感謝しています。一方で、再来年の西日本区大会に向けての動きが始まっており、ワイズメンの休まることのない活動に目を見張る思いです。

さて、1月から5月までの例会ゲストスピーカーが決まりました。多彩な顔ぶれから有意義な学習の場ができることを楽しみにしたいと思います。残り半期、幾つかの重要課題も残っていますが、ひきつづきご支援くださるよう、よろしくお願いいたします。

若林成幸

例会ゲスト・プロフィール



神戸山手女子短期大学
 芸術科卒
 臨床美術士
 楽しいアートすこし代表
 阪神地域を中心に、子どもから大人障害のある方への技術指導を行っている。

他クラブ訪問

神戸クラブクリスマス例会訪問記

12月10日(土)午後6時、旧通信芦屋別館のモダン・クラシカルなレストラン『芦屋モリス』で開かれた神戸クラブのクリスマス例会に行ってきました。受付で頂いたプログラムもお手製で温かい感



じです。第一部はクリスマス礼拝。美崎会長による開会点鐘、ワイズソング斉唱、今月の聖句朗読後、ゲスト紹介がありました。クリスマスメッセージは山根貞夫司祭。それから皆で賛美歌『もろびとこぞりて』を歌いました。第二部はゴージャスなフレンチコースとクリスマスコンサートです。ミュージシャンの山下慎司さんはクリスマスソングは元より中島みゆきの『糸』などを熱唱。会場はクリスマスの雰囲気にも包まれ和やかな感じになりました。同じテーブルには進藤啓介直前部長も一緒に楽しくお話させていただきました。初めてお会いする人もやはりワイズメンというだけで楽しくお話出来るのは嬉しいことです。Happyバースデー後、みんなで『きよしこの夜』を歌いクリスマスが近づいていることを感じつつ幸せな気持ちで帰路に着きました。

鯖尻佳子

芦屋クラブ クリスマス例会参加

12月23日、ホテル竹園芦屋で開催された恒例の芦屋クラブクリスマス例会に、武田、鯖尻、堀江の三名が出席しました。本年も六甲部全8クラブからの参加者があり、さながら六甲部のクリスマス会のように、総勢71名でした。第1部礼拝の部では聖公会芦屋聖マルコ教会のウイルソンウオーレン司祭の奨励がありました。流暢な日本語で、しかし少し長めのクリスマス物語でした。同司祭の他に芦屋地区諸教会の牧師5人、夫人を加えると計10人が出席され、エキシメニカルな集まりの会になりました。ワイズが何かの役割を果たすことが出来ればうれしいことです。第2部は中道神戸YMCA理事長の祝辞にはじまり、会食、歓談、その後、今年の趣向はポルカ調の音楽と舞、楽しいひとときを過ごしました。またこれも恒例のオ



ークション、なぜか宝塚組は3人共ゴルフボールをゲット。最後全員がホール一杯に輪になってきよしこの夜を歌い、上野会長の閉会点鐘で幕を閉じました。

堀江裕一

大阪土佐堀クラブ・大阪西クラブ合同 クリスマス例会報告

創立65周年、30周年の親子クラブ合同クリスマス例会が2016年12月13日(火)、19:00からホテルクライトン新大阪で開催され親戚クラブ、宝塚から参



加しました。今期は両クラブとも若い会長がリードし、頼もしさを感じたひと時でした。

メインプログラムはハンマーダルシマー奏者、稲岡大介氏によるクリスマス音楽や映画音楽など、宝塚クラブ例会で感動した数々の演奏でした。お弟子さんの元メンバー、沢田郁さんも同席し久しぶりのお話を楽しみました。沢田さんからはキャロルの夕べの支援にと献金を頂き感激しました。

会場には両クラブの元メンバーの方々やYMCA関係者、他

クラブメンバーなど約40名の出席で、和気藹々の素晴らしい時間でした。



いつも温かく迎えて下さる両クラブのみなさま、ありがとうございました。

石田 由美子

メネットアワー報告

平成28年11月12日、13時より71名の参加者のもと、メネットアワーが開催されましたのでご報告いたします。講師はNPO法人箱崎自由学舎エスペランサ代表小田哲也氏。

テーマは「どんな環境にある子供にも等しくサポートを」。不登校児童(現在の不登校者数25,864人)の現状、不登校になる要因、フリースクールの役割について話され、「子供が自信をつけること」をエスペランサのミッションとして掲げての活動内容を紹介された。

メネットとしてどのようなサポートができるか、ヒントをいただける講演であった。

同時に不用品アクセサリーの販売を実施。宝塚クラブの皆様からもたくさんのアクセサリーを寄付していただきありがとうございました。

メネット 福田素子

我々にとり、大きな喜びでした。昨年青柳さんに出しましたクリスマス・レターが戻ってまいりましたが、今年も出してみますね。

私はほとんどの時間木工制作に打ち込みました。宝塚の皆様はじめ、およそ250本を制作し、それらは世界中へと旅立っていきました。数か月前、ちょっとしたことで右の親指に3cmの切り傷をしましたが、幸いなことに大事には至りませんでした。

12月24日、わが75歳の誕生日を迎え、ギブのあるホテルで隣人、友人を招いて、ささやかなパーティをいたしました。これからもできる限り、続けたいと思っています。

良い社会生活を過ごすためには大切なことと思いますし、齢を重ねるほど、より重要なことではと思っています。

宝塚の皆様、くれぐれも佳き新年を迎えられますよう、ギブクラブ・メンバー、一同お祈り申し上げます。

【今月のみ言葉】

モーセの十戒の第4戒には安息日についての掟が記され、7日目の日は天地を6日間で創造された神が休息された安息日であるから、何人もいかなる仕事もしてはならないと命じられています。今日でも敬虔なユダヤ教徒は、週の7日目の土曜日(厳密には金曜日の日没から土曜日の日没まで)を安息日として厳格に守り、一切の労働を遠ざけています。ユダヤ教を母胎として成立したキリスト教もこの安息日の伝統を受け継いでいきますが、金曜日に十字架につけられたイエス・キリストが3日後(3日目)の日曜日に復活したという理解から日曜日に安息日を守るようになりました。その後、紀元4世紀にローマ帝国のコンスタンティヌス帝がこの日曜日を休日と定めることにより、この習慣はキリスト教世界全体に広がっていきました。

日本でも明治時代にこの習慣が取り入れられ、今日では誰もがこの一週間のサイクルに従って生活しています。もっとも、休日を返上してでも働くことを美德としてきた日本の社会にあっては、比較的

IBCからの
クリスマスメッセージ

ギブクラブ、ヨルゲン アウン

親愛なる皆様、 クリスマス 2016

一年がまたたくの間にすぎ、今年もクリスマスを迎えるに当たり、皆々様の健康をお祈り申し上げます。

今年、わがクラブでは数々の興味深い会合もたれ、現在会員は28名、昨夜今年最後の会合には48名が集まり、美味しいクリスマスのご馳走を味わい、ともどもに楽しい時を過ごしました。

娘のエルス、ルース、私と三人でカナダにいるキャシーの40歳の誕生日を祝うのに出かけ、数日を過ごしたばかりです。彼女は1994-5年ワイズ

ズメンの交換留学生として我が家に滞在したのは



厳格に「安息日」を守ってきた欧米社会とは異なり、日曜日に働くことは特に問題であるとは考えられず、職種によってはそれがむしろ当然のことと見なされており、安息日の本来の意味がどこまで理解されているかは甚だ疑問です。しかし、心にゆとりがなく、ストレスの多い今の時代だからこそ、改めてこの安息日の意味についてそれぞれが問い直してみる必要があるのではないのでしょうか。

嶺重 淑

YMCA だより



新年明けましておめでとうございます

神戸YMCAは設立1886年、今年で131年を迎えます。神戸YMCAの創成期において、当初は神戸教会を活動ごとに使用するという小さな場での活動をしていましたが、やはり会員どおしが交わりを深める場、YMCAで人との出会いの場、市民活動の場としての会館を熱望していたところ、V. W. ヘルムというアメリカから派遣された名誉主事が、北米のYMCAにもその場への思いを伝える中で、会館の設立の寄付が約束され、そのきっかけで1913年に第1期となる神戸YMCA本館が与えられました。初の会館建築事業には、人の出会い、結びつきという神の配材もありましたが、神戸の会員は単に建築募金として運動するにとどまらず、進んで運動体としての活動を活発化すべく新たな会員募集を開始したことも注目すべき事柄です。

その後、1920年には市の拡張による「赤煉瓦のYMCA」会館移転や戦争による焼失から復興への歩みとなった「中山手会館」、そして昭和の事業拡大を支えた「加納町会館」の歴史を経て、このたび第5期となる「神戸YMCA三宮会館」がこの4月より歩み始めます。

新しい会館では、専門学校やキャンプなどの活動とともに、高齢者の場という新たな取り組みが期待される場所ではありますが、21世紀の世界の中でも、少子化高齢化が最も急速に進む我が国での地域活動のありようを試される時でもありますので、これからの歩みにご期待ください。なお、新会館はすでに外装はかなり出来上がっており、内装工事を行い、2月終わりまでには完成予定となっています。3月からは4月からの運営準備を行うこととなりますが、これまでお支えいただいた方々への披露の場も検討していますので、その折にはぜひご見学ください。

1) YYフォーラム

ワイズ、リーダー、とYMCAの核となってYMCA運動を行ってくださる方々が一堂に集まって、社会に必要とされること、そしてYMCAのこれからの歩みを語り合う「YYフォーラム」を新年に行おうと有志で企画をしています。昨年度はブランディングの一つとして「YMCAの宝探し」と題して様々な話しをしました。今年度も引き続き、ブランディングをテーマに進めていこうと検討中です。ぜひ多くの方にお集まりいただけますようお願いしています。

日程 2017年1月28日(土)

時間 13:00~17:00(予定)

場所 神戸栄光教会

対象:YMCAに関わる全ての方

申し込みについては例会にてお教えください

2) 募金感謝

神戸YMCAでは、災害や紛争、また地域の状況に虐げられている人びと、若者のために国際協力募金や震災復興支援のための募金をお願いしていますが、12月11日には六甲部合同で元町において街頭募金を実施していただき50,063円を国際協力募金に捧げていただきました。

また宝塚ワイズメンズクラブについては、新たな活動拠点となる会館の建築募金として10万円、また12月例会では日本YMCA同盟がすすめる

「地球市民育成プロジェクト」でのユース育成のために23,500円をささげてください感謝いたします。

3) 新年度準備

春からの新たな年度への準備が始動しました。2017年度も野外活動や発達障がいがある子どもへの支援など、多くの活動を必要とされる方への活動募集を開始します。ぜひ皆様の周りの方々への吹聴、お願いいたします。また、学生ボランティアなど活動の場を求めている人にも「YMCA」をよろしく願います！

(会費納入依頼)

年会費納入のお願い

2016/17年度後期(1~6月)会費の納入をお願いいたします。

金額 20,000円

前期分未納の方はわせてお願いします。

(銀行振込の場合)

銀行名 三菱東京UFJ銀行

宝塚中山支店

口座番号 普通預金 4585836

口座名 宝塚ワイズメンズクラブ

(CS献金依頼)

CS献金の件

年賀ハガキ抽選日 2017年1月15日

献金は2月例会で集めます。

目標は当選切手と現金を合せて1人1,500円です。

(地域奉仕・環境事業委員会 福田宏子)

市民クリスマス

キャロルを歌う夕べを終え

12月22日(木)、夕方から降り出した雨にも拘わらず今年も多くの方に来場いただき、第12回目の市民クリスマスを終えました。特に、はんしん自立の家の入居者と介助ボランティアも最後列に陣取って応援くださり大変勇気づけられました。プログラム構成は例年と変わらなくても、各サークルの工夫をこらした選曲・演奏からこの催しに対する熱意が感じられ、心揺さぶられるシーンが随所に見られました。

今回は、関学大・神学部の学生10名が初参加し、聖書朗読とページェントに挑戦してくれました。神学部生に相応しい地域活動に参加したいという意向に応じて出場機会を作ったものですが、皆様はどんな感想をお持ちでしょうか。

関学三田キャンパスのフラサークル“マハロ”も回を重ねて出演し、観客を魅了してくれました。

このようにして、関学生とのよい関係作りが広がってきたことを喜びたいと思います



庄巻は、ポップンリンガーズの“アメージング・グレース”熱演。無垢でひたむきな演奏スタイルに観



客の目や心が引き寄せられ、演ずる親子の喜びが頂点に達した瞬間、拍手が鳴り止まず、初のアンコール演奏。会場全体に大きな感動の輪が広がりました。

また、ロビーで行われた災害被災者救援募金・国際協力募金に 121,614 円の浄財が与えられました。



近隣教会の献金、合唱団の協力、ワイズ皆さんの援助があつて、全てのプログラムが順調に進み、素晴らしいクリスマス・プレゼントになったことを感謝致します。



若林成幸

「司会の場所から」

今年のキャロルのタベも感動、感動でした。まず宝塚厚生幼稚園の園児さん 26 名のお歌。



これ以上出せないと言う位の大きな声は思わず微笑みが出ます
第1部の関学神学部学生会のページェントは趣向

が変わって新鮮でした。

第2部の主役はポップンリンガーズ、関学三田フラスカール・マハロの若者たちです。ポップンリンガーズは今年も又、進化しました！最後の曲、アメージンググレースには鳴り止まない大きな拍手で初めてアンコールをお願いしました。初めて、とステージで言いましたが、今までも何度もアンコールになる場面はあったのです。時間がタイトなため、敢えて大拍手の中、次へ進めていきましたが今回は1曲減った事が私に余裕を与えてくれました。でもそれより、時間が押しても何とかする！と言う聞き直りが大きかったです。その結果、泣きの連続だったと言うパパがいました。きっと何人もそんな人がいたでしょう。



マハロも頑張りました。総合政策学部・村瀬義史チャプレンから、このような機会をマハロに与えられて宝塚ワイズメンズクラブに大きな感謝を表します、とのメールが来ました。宝塚クラブの今年はいつもの様に感動と感謝でフィナーレです。



石田由美子

「第12回市民クリスマスに参加して」



毎年新しい内容が盛り沢山になり、濃度が増しつつある市民クリスマス、あいにくの雨に見舞われたがなんのその。今年は舞台でのコーラスには参加できなかったが、観客側での参加もまた格別。第二部では舞台側と観客側が一体となり、クリスマスを祝うことができるのもこの市民クリスマスの最大の特徴ではないだろうか。それにも増して、出演者の熱意に圧倒されたクリスマスであった。

福田宏子

「私は天使に会いました」

ー12月25日宝塚教会クリスマス礼拝でのことー
先日の聖書は、あの有名なルカ2章8節以下の「羊飼いと天使」の箇所でした。佃牧師は説教の中で「皆さん天使を見たことがありますか？」と問いかけ、続いて「私は先日ベガホールで天使に会いました」と名前こそ出されなかったが「ポップン・リンガーズ」のことを話されました。「全身で喜びを表しながら一



生懸命ベルを振り鳴らし、その溢れんばかりの喜びを会場の人に伝えようとするひたむきな姿—これこそが本当の天使の姿なのです。・・・」

聖歌隊の席でこの説教を聞いていた私はベガホールの感動がよみ返り思わず涙が出てしまいました。

吉田 明

「お礼」

「はんしん自立の家」石田英子

「キャロルの夕べ」は本当にありがとうございました。たくさんの方に声をかけていただき、支えていただき、うれしいことでした。

入居者もスタッフも豊かな気持ちで帰ってきました。

ちょうど22日の午後に朝日新聞社の取材を受け、相模原の事件のコメントを求められたのですが、「私は何も言えない」とお断りしながら、「はんしん自立の家」の取り組みや、地域の方々とのつながり、「はんしん自立の家」が出来た経緯など(YMCAのキャンプのことも)を説明し、その後でベガホールに向いました。

自分で、いろいろと語ったこともあったのかも知れませんが、ポップン・リンガーズの『アメイジング・グレイス』は涙が止まりませんでした。

「しあわせ運べるように」も「ハレルヤ」も、みんな精一杯歌い踊りました。ありがとうございました。

同行した朝日新聞の阿久沢さんも「来てよかった」と感動しておられました。



2016年12月22日

第12回宝塚市民クリスマスキャロルを

皆さんの協力と沢山の参加を頂き

ありがとうございました。



事前準備

プログラム



FM宝塚出演アピール

